

# 令和5年度藤里町社会福祉協議会事業報告

## 【 法人運営部門 】

○法人運営部門は、適切な法人運営や事業経営を行うとともに、総合的な企画や各部門間の調整等、社協事業全体のマネジメント業務を行いました。

### 1) 法人運営

#### ◎理事会の開催

① 令和5年6月2日（金）（理事出席7名 監事出席2名 欠席なし）

議案 令和4年度藤里町社会福祉協議会事業報告（案）について  
令和4年度藤里町社会福祉協議会収支決算報告（案）について  
令和4年度藤里町社会福祉協議会監査報告について  
令和5年度藤里町社会福祉協議会補正予算（案）について  
役員を選任の提案について  
令和5年度藤里町社会福祉協議会定時評議員会の招集について

② 令和5年6月19日（月）（理事出席7名 監事出席1名 欠席 理事2名 監事1名）

議案 任期満了による会長・副会長の選定について  
令和5年度 第47回藤里町社会福祉大会における被表彰者について

③ 令和5年12月20日（水）（理事出席8名 監事出席2名 欠席 理事1名）

議案 令和5年度藤里町社会福祉協議会補正予算（案）について  
令和5年度歳末たすけあい運動配分（案）について  
令和5年度藤里町社会福祉協議会評議員会の招集について

④ 令和6年3月15日（金）（理事出席6名 監事出席2名 欠席 理事3名）

議案 令和5年度藤里町社会福祉協議会補正予算（案）について  
令和6年度藤里町社会福祉協議会事業計画（案）について  
令和6年度藤里町社会福祉協議会収支予算（案）について  
役員等賠償責任保険契約の締結について  
令和5年度藤里町社会福祉協議会評議員会の招集について

#### ◎評議員会の開催

##### ① 定時評議員会

令和5年6月19日（月）（出席17名・欠席3名・監事出席1名）

議案 令和4年度藤里町社会福祉協議会事業報告（案）について  
令和4年度藤里町社会福祉協議会収支決算報告（案）について  
令和4年度藤里町社会福祉協議会監査報告について  
令和5年度藤里町社会福祉協議会補正予算（案）について  
任期満了による理事・監事を選任について

② 令和5年12月27日(水) (出席15名・欠席5名)

議案 令和5年度藤里町社会福祉協議会補正予算(案)について

③ 令和6年3月19日(火) (出席14名・欠席6名)

議案 令和5年度藤里町社会福祉協議会補正予算(案)について

令和6年度藤里町社会福祉協議会事業計画(案)について

令和6年度藤里町社会福祉協議会収支予算(案)について

#### ◎監事会の開催

令和5年5月25日(木) (出席2名)

令和4年度藤里町社会福祉協議会業務について

令和4年度藤里町社会福祉協議会収支会計について

#### ◎役員研修の実施

日時 令和5年10月30日(月)

場所 あきた芸術劇場「ミルハス」大ホール

参加 15名(理事6名 民生児童委員7名 社協2名)

内容 令和5年度秋田県社会福祉大会参加

記念講演「子どもは歴史の希望」

～こどもまんなか社会と地域文化の伝承～

講師 一般財団法人 児童健全育成推進財団 理事長 鈴木 一光 氏

#### 2) 財務運営・管理

##### ◎適正な担当者の配置

##### ◎外部監査等の実施

北林会計事務所 月1回 他2回(決算・消費税・年末調整等)

#### 3) 自主財源確保に向けた体制づくり

##### ◎社協会員加入促進

令和5年度 加入状況 ※前年度実績( )

・一般会員 975世帯

・特別会員 50世帯

・団体会員 1団体

※上記他、特別会員に県外の方1名

84.07%(84.0%)

#### 4) リスク管理・コンプライアンス管理体制の整備

##### ◎第三者委員会議の開催

日時 令和6年3月18日(月) 10:00～11:30

場所 総合福祉センター 相談室

出席 5名(第三者委員2名 社協3名)

内容 藤里町社会福祉協議会事業の執行状況について  
令和6年度事業計画について

##### ◎介護保険事業所内研修の実施

各事業所別研修計画に基づく研修(月1回)の実施及び全事業所による会議を行いました。

- ・介護保険等会議 11回
- ・部門長・管理者会議(法令遵守、運営規程、BCP等) 3回
- ・衛生委員会(BCP、虐待防止、腰痛予防等) 1回
- ・報酬改定研修 2回

#### 5) 計画的な採用・異動・人事考課等の人事管理

##### ◎適切な人事管理

介護保険事業等の安定的な経営と職員のキャリアアップを目指し、計画的な採用・異動等を実施しました。 職員採用 1名

#### 6) 研修・能力開発等の計画的な人材育成

##### ◎職員の資格取得研修助成

資格取得者 1名(社会福祉士1名)

介護実務者研修(通信)受講助成 2名

社会福祉士実習指導者講習会受講 1名

#### 7) 労働法制に基づいた労務管理

##### ◎就業規則等の見直し

##### ◎社会保険労務士への委託

8) 所轄庁への届出や、対外的な法的対応を行う法務に関する必要な業務を行いました。

#### 9) 将来ビジョンの検討と進行管理

##### ◎役員研修の充実

◎地域の福祉ニーズの把握 報告・連絡・相談用紙の活用

◎福祉事業の効果・評価 報告・連絡・相談用紙の活用

◎「社協発展・強化計画」策定の是非の検討

10) 法人としての災害時対応とBCP（事業継続計画）の策定・推進

◎BCP計画（自然災害・感染症等）の作成、周知、見直しを行いました。

・通年：新型コロナウイルス感染症等対策検証

7月 感染症対策研修参加2名

3月 グループホーム美里園 3/20 コロナ感染者発生 4/18 終息

感染者：利用者16名 職員10名

対応等：食事等連携（3/21 昼食～4/16 朝食）

介護職員等連携（デイサービス休業7日間 3/25～4/2）

・通年：自然災害対策検証

避難・宿泊からの検証、マニュアルの見直し

5月26日 避難訓練：美里園 総合福祉センター・ぶなっち こみっと・くまげら館

7月14日 大雨警報避難準備

7月15日 氾濫警戒情報3、大雨警報3、洪水警報3、暴風警報

○入所施設 高齢者・要援護者避難

避難場所：藤里町総合開発センター2階研修室1泊

ぶなっち入居者6名避難（他入居者3名ご家族迎え）

・美里園入居者8名避難

・くまげら館 2階居室で2名待機

避難場所：特別養護老人ホーム藤里泊

・美里園入居者10名（重度者優先）

○訪問事業 ヘルパー、プラチナバンク作業員、作業内容確認

○通所事業 土日の為休み

○土砂災害避難指示発令：警戒レベル4（大沢、中通、藤琴、米田）

避難場所：藤里町総合開発センター

対象地区を中心に安否確認の電話を入れる（①安心・安全の支援事業登録者 ②一人暮らし高齢者 ③二人暮らし高齢者 ④その他要援護者）

町と連携し車椅子利用者の避難困難者送迎支援

7月16日 避難解除 入居施設へ戻る

・美里園18名・ぶなっち入居者6名

9月20日 避難訓練（農村環境改善センター）

10月27日 避難訓練（総合福祉センター・ぶなっち）

11月22日 避難訓練（こみっと・くまげら館）

3月27日 避難訓練（農村環境改善センター）

11) 広報活動・広報戦略等

◎広報「社協だより」の発行 6回発行（No.209～No.214）

◎第47回藤里町社会福祉大会の開催

日時 令和5年7月27日（木）13:00～15:00

会場 藤里町総合開発センター 2階大ホール

参加者 181名

内容 表彰 体験発表（藤里学園生徒2名）

まち自慢トーク 出演者 宮野洋平氏・山田芳子氏・佐藤咲起子氏

進行 新川泰道氏

◎こみっと感謝祭の開催

日時 令和5年10月7日(土) 10:00~12:00

会場 福祉の拠点「こみっと」

参加者 85名(チケット50枚を販売)

内容 体験型こみっと感謝祭(8つの体験メニュー)

当日は、雨天のため屋内で開催。全て実際に体験できるメニューで実施しました。まち自慢クラブの講師の方などにもご協力いただき、来場者及び当日スタッフ、皆で体験交流をしました。

◎福祉座談会の開催

①	令和6年2月	5日(月)	10:00~11:30	米田交流センターすばり	10名
②	令和6年2月	5日(月)	13:30~15:00	粕毛交流センター	10名
③	令和6年2月	8日(木)	10:00~11:30	中通会館	14名
④	令和6年2月	8日(木)	13:30~15:00	金沢体育館	7名
⑤	令和6年2月	13日(火)	10:00~11:30	大沢会館けやき	13名
⑥	令和6年2月	13日(火)	13:30~15:00	矢坂婦人・若者等活動促進施設	15名
⑦	令和6年2月	14日(水)	10:00~11:30	藤里町総合開発センター	16名
					参加者 合計85名

◎福祉教育校の指定・推進(共同募金委員会と連携)

藤里町立義務教育学校藤里学園を福祉協力校として指定し次世代育成を行いました。

・藤里町立義務教育学校藤里学園

義務教育学校が開校し、9年間を通した「町づくり学」の実践を行っています。これまで小中で行っていた活動は、それぞれ前期、後期課程で引き続き行いました。前期、後期課程のお互いの活動を知ることで、刺激を得ることができました。

地域学校協働活動推進員を活用し、行政や関係機関と連携しながら、地域全体で福祉教育をすすめることができました。

主な活動

通年：全校生徒での花壇活動

農園活動(前期課程、保護者・祖父母・地域住民による「畑サポーター」との交流)

ベルマーク、アルミ缶、ペットボトルキャップ収集

※書き損じはがき収集(12・1月のみ)

1、2年生 幼稚園児とサツマイモの苗の植え付け、収穫作業交流

幼稚園児との交流クリスマス会

3年生 市日で、サツマイモの販売 味噌作り体験

4年生 炭焼き体験、大館能代空港で「白神山水」販売

5年生 田植え・稲刈り体験、お食事処こみっとでオリジナルランチ提供

6年生 羊毛工作体験

5~9年生 雪かきボランティア

後期課程 一人一鉢活動、地区ボランティア活動、藤里フェアで特産品販売

◎ホームページ等での情報発信

藤里町社会福祉協議会の事業・行事等の説明や紹介、活動予定・活動報告等の情報を発信しました。

◎藤里体験プログラムの作成と発信を行いました。 ※報告は29ページへ掲載

【 地域福祉活動推進部門 】

○地域福祉活動推進部門は、地域の組織・関係者の協働を促進し、地域福祉推進の中核的な役割を担いました。

1) 調査の実施や福祉座談会の開催、他部門との連携に基づく地域生活課題の把握

- ◎在宅障がい者等の状況調査 報告・連絡・相談用紙等の活用
- ◎安心安全体制整備事業に関する意識調査の継続 報告・連絡・相談用紙等の活用
- ◎福祉座談会の開催

2) 藤里町地域福祉計画策定への参画、藤里町地域福祉活動計画の策定と検証

- ◎地域福祉計画及び地域福祉活動計画の評価・見直し 報告・連絡・相談用紙等の活用

3) 地域生活課題を踏まえた政策提言等のソーシャルアクションの実施

地域ケア会議や各種計画策定会議等で、地域の声を新規サービスの提案や改善案として発信しました。

4) 小地域ネットワーク活動の推進・(活躍) 支援

※報告は23ページへトータルケア推進事業として掲載

5) 生活支援体制整備事業の実施

- ◎生活支援コーディネーター及び就労的活動支援コーディネーターの配置
- ◎地域包括支援センター・地域活動支援センター・トータルケア推進事業(CSW)等と連携し、一体的な生活支援体制を整備

- ◎まち自慢クラブ事業の実施 開催日時 火～金 10:00～14:00

自称60歳以上の方が登録。町自慢の方々が、ときには生徒、ときには講師として、町の良い所を学び、体験し、語り合う「まち自慢講座」「山菜ランチ」「源泉かけ流し温泉」が自慢のまち自慢クラブを通年で開催しました。

登録者数	140名
実施回数	178回
延べ参加人数	615名
まち自慢講座回数	178回(64種類)
まち自慢講師数	30名
応援ボランティア数	342名(各地区婦人会、ボランティア団体へ依頼)
応援ボランティア活動回数	173回
内指定まち自慢クラブ(通所型A)	実数10名 延利用回数301回

◎家族介護支援事業（在宅介護者の集い事業）

介護者の方同士のリフレッシュや意見交換を目的に、藤里町ボランティア団体連絡協議会及び精神保健福祉ボランティア等の方々と、合同研修として実施しました。

より多くの方が参加できるように、それぞれ3回実施しました。

・介護者リフレッシュ事業

- ① 令和5年11月14日（火） 参加者16名（内介護者5名 社協2名）
- ② 令和5年11月16日（木） 参加者20名（内介護者7名 社協2名）
- ③ 令和5年11月20日（月） 参加者11名（内介護者3名 社協2名）

場 所 秋田市

内 容 AKT秋田テレビ局、秋田市民市場、大潟村道の駅  
地域文化の情報発信について視察、見学、交流研修

・介護者の集い事業

- ① 令和6年 1月16日（火） 参加者23名（内介護者5名 社協7名）
- ② 令和6年 1月25日（木） 参加者20名（内介護者1名 社協5名）
- ③ 令和6年 1月26日（金） 参加者16名（内介護者4名 社協7名）

場 所 農村環境改善センター

内 容 まち自慢クラブ体験 テーマ 知って得する防災のススメ①  
～心肺蘇生とAEDの使い方～

講 師 佐野 淳子氏

・みんなの縁側事業

介護者同士が自由に集まる機会として、まち自慢クラブで「がんばらない介護」をテーマに学び合いや交流を行いました。 実施回数12回 延参加者数35名

No.	月 日 (火曜日)	テーマ	参加者数	内介護者
1	4月18日	便秘について	6名	2名
2	5月16日	福祉用具について	6名	1名
3	6月20日	施設の選び方	10名	3名
4	7月25日	夏負けしない水分の摂り方	6名	0名
5	8月22日	住宅改修について	8名	2名
6	9月26日	補聴器について	10名	3名
7	10月17日	訪問看護について	6名	1名
8	11月21日	デイサービス事業所について	9名	2名
9	12月19日	高齢者の栄養について	6名	1名
10	1月16日	縁側×介護者の集い×婦人会 知って得する防災のススメ①心肺蘇生とAEDの使い方	23名	14名
11	2月20日	知って得する防災のススメ② 防災キャンプ 8分でごはんを炊く	11名	4名
12	3月12日	知って得する防災のススメ③ 災害時の非常食	8名	2名

◎成年後見制度利用支援事業

専門相談所の開設（毎月1回及び必要に応じて随時開設）

「保健・福祉・法律」の専門家による相談所を定期的に開催しました。地域住民の困りごとが深刻化しないように、専門家との相談の機会を町内で確保しました。

9件受付（保健関係0件 福祉関係2件 法律関係7件）

◎福祉用具・住宅改修支援事業

5月と8月に、まち自慢クラブで利用の仕方を学ぶ講座を行いました。

◎認知症サポーター等養成事業

認知症サポーターステップアップ研修 まち自慢クラブにて実施 10時～12時

- ① 令和5年 6月15日（木） 参加者5名 「ロバ隊長マスコット作りに挑戦」
- ② 令和5年 9月20日（水） 参加者7名 「チームオレンジを知ろう」
- ③ 令和5年12月 8日（金） 参加者5名 「認知症カフェに行ってみよう」
- ④ 令和6年 3月19日（火） 参加者2名 「健康寿命をのばす口腔ケア」

◎認知症地域支援事業 安心・活躍DAY 試行事業（認知症カフェの運営）

No.	月 日	参加者等	地名	オンライン	参加者数
1	11月29日	千葉商科大学、社協職員	千葉県、藤里町	2名	6名
2	12月15日	むつみ会（一人暮らし高齢者）、社協職員	藤里町		18名
3	1月12日	むつみ会（一人暮らし高齢者）、社協職員	藤里町		15名
4	2月2日	むつみ会、千葉商科大学、秋田看護福祉大学、有識者、社協職員	藤里町		27名
5	3月1日	千葉商科大学、秋田看護福祉大学、有識者、社協職員	藤里町	1名	17名
			合計	3名	83名

6) 安心・安全体制づくり（重層的支援体制整備事業・活躍支援プロジェクトと協働実施）

☆生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センター機能・地域活動支援センター機能・トータルケア推進事業（CSW）機能・生活支援体制整備事業機能を活かし、一体的に運営することで、地域共生社会の実現を目指しました。

◎安心・安全支援事業

7) 活躍支援の拠点づくりプロジェクトの活性化 (安心・安全体制づくりと協働実施)

◎活躍支援の拠点づくりプロジェクト

・仕事づくりの拠点「農村環境改善センター」の受託運営 ※前年度実績 ( )

施設利用 延利用人数 167名 (83名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
部屋	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	2名	2名	1名	6名
宿泊	4名	3名	66名	4名	29名	12名	14名	2名	11名	0名	16名	0名	161名

入浴利用 延利用人数 6,097名 (5,823名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大人	518名	630名	574名	457名	499名	472名	544名	522名	414名	452名	483名	500名	6,065名
子供	2名	4名	5名	0名	7名	1名	3名	7名	0名	2名	1名	0名	32名

歴史民俗資料館 延利用人数 56名 (32名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
12名	5名	17名	0名	19名	2名	1名	0名				

・白神まいたけキッシュの製造販売 ※前年度実績 ( )

町特産のまいたけを使用して、白神まいたけキッシュを製造・販売しました。

売上合計 1,568個 (1,694個) 2,834,121円 (2,849,176円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
131個	162個	133個	142個	168個	95個
219,776円	283,269円	250,725円	249,364円	280,135円	168,839円
10月	11月	12月	1月	2月	3月
166個	119個	141個	126個	83個	102個
305,222円	203,215円	268,673円	245,351円	164,463円	195,089円

※個包装の販売分含む

・こみっとうどんの製造販売 ※前年度実績 ( )

讃岐生まれの白神育ち「こみっとうどん」を製造・販売しました。

売上合計 128,310円 (116,690円)

通常販売		85,270円
卸	町内飲食店	20,250円
その他	ふるさと納税返礼品、藤里町役場(健康教室)等	22,790円

・栗製品の製造販売 ※前年度実績 ( )

藤里産の栗を使用して「栗ブラウニー」を販売しました。

渋皮煮用の栗は、熊の出没のため、収穫できませんでした。

売上合計 485,195円 (501,889円)

栗ブラウニー	1,762袋 (1,905袋)	485,195円 (482,989円)
栗の渋皮煮	0袋 (63袋)	0円 (18,900円)

・FUJISATO グッドデリの製造販売 ※前年度実績（ ）

藤里の山菜と昔から伝わる食の知恵を活かして和のおかずを製造・販売しました。

売上合計 1,370 袋 (1,017 袋) 444,159 円 (437,686 円)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
116 袋	128 袋	70 袋	178 袋	68 袋	89 袋
39,586 円	42,892 円	24,860 円	58,909 円	23,408 円	30,236 円

10月	11月	12月	1月	2月	3月
104 袋	76 袋	166 袋	46 袋	108 袋	221 袋
35,147 円	26,199 円	63,438 円	15,648 円	37,248 円	46,588 円

※数量に卸含まず

・畑の収穫物の販売 ※前年度実績（ ）

藤里産の「大豆」及び「小豆」を販売しました。

売上合計 39,240 円 (27,500 円)

大豆	3 袋 (26 袋)	1,260 円 (10,700 円)
小豆	96 袋 (45 袋)	37,980 円 (16,800 円)

・山菜ランチ ※前年度実績（ ）

来客延人数 1,615 名 (1,415 名) 売上額計 1,077,000 円 (944,950 円)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来客数	79 名	120 名	120 名	168 名	139 名	197 名
売上額	48,900 円	80,900 円	85,000 円	118,800 円	98,000 円	142,200 円

10月	11月	12月	1月	2月	3月
116 名	149 名	131 名	142 名	125 名	129 名
74,900 円	95,100 円	79,700 円	93,100 円	81,700 円	78,700 円

・根っこビジネスの展開

根っこビジネスの促進、新商品の開発、山菜ランチ、お食事処こみっとの運営  
⇒プラチナバンク等の活用、「食」を活かした交流

視察や取材、まち自慢クラブ等でプラチナバンク会員によるわらび餅実演を行い、  
根っこビジネスの宣伝とプラチナバンク活動の発信をしました。

・地域の団体、ボランティア等の活躍支援

・「こみっと」機能、「農村環境改善センター」機能を有効に活用し、効率的な運営を行いました。

◎研修センター開設（職業体験プログラムの充実）

介護福祉士実務者研修（通信）と社会福祉士・精神保健福祉士実習生の受け入れなどの研修プログラムを実施しました。申込みが少ない研修は中止しました。

・福祉用具専門相談員講習の実施

第2回 福祉用具専門相談員講習 受講申込者1名のため中止しました。

・介護福祉士実務者研修

第6回 介護福祉士実務者研修（通学5月17日～11月2日）  
受講申込者が6割に達しなかったため中止しました。

第11回 介護職員初任者研修（通学10月13日～12月12日）  
受講申込者が6割に達しなかったため中止しました。

第6回 介護福祉士実務者研修（通信令和6年2月1日～令和6年7月31日）  
受講者5名で実施しました。

・社会福祉士・精神保健福祉士等実習生の受け入れ 5名

秋田看護福祉大学 精神保健福祉援助実習

令和5年 6月12日（月）～ 6月23日（金） 10日間 2名

秋田看護福祉大学 ソーシャルワーク実習

令和5年 8月21日（月）～10月 7日（土） 23日間 2名

秋田大学教員介護実習

令和5年10月16日（月）～10月20日（金） 5日間 1名

8) 住民主体の福祉活動、生活支援サービスの推進・支援

◎団体活動の育成・支援（共同募金委員会との連携）

- ・老人クラブ連合会
- ・身体障がい者協会
- ・手をつなぐ育成会
- ・遺族会
- ・ボランティア団体連絡協議会

◎各団体等の合同研修・情報交流事業の実施 ※報告は合同研修会として8ページへ掲載

## 9) 当事者組織の育成・支援

当事者一人ひとりの活躍支援を目指して事業を実施しました。

### ◎むつみ会交流会事業（一人暮らし高齢者交流会） 登録者数100名

一人で暮らす高齢の方は、生活上で様々な不便も抱えています。

会員同士の交流と情報交換の場として実施しました。

- |   |   |        |
|---|---|--------|
| ① | 令和5年 5月24日（水）まち自慢クラブ<br>「グラウンドゴルフを体験してみよう」  | 参加者10名 |
| ② | 令和5年 8月 1日（火）大潟村<br>大潟村生態系植物園 道の駅おおがた       | 参加者22名 |
| ③ | 令和5年10月31日（火）秋田市<br>秋田市民俗芸能伝承館 道の駅しょうわ      | 参加者18名 |
| ④ | 令和5年12月15日（金）まち自慢クラブ<br>「認知症カフェに行ってみよう」     | 参加者14名 |
| ⑤ | 令和5年 1月12日（金）まち自慢クラブ<br>大学生と藤里町を語ろう（認知症カフェ） | 参加者11名 |
| ⑥ | 令和6年 2月 2日（金）まち自慢クラブ<br>大学生と藤里町を語ろう（認知症カフェ） | 参加者15名 |

### ◎在宅介護者の集い事業の実施 ※報告は合同研修会として8ページへ掲載

### ◎知的障がい者家族交流事業 実施できませんでした。

### ◎をとこ組事業

藤里町の全世代の男性を対象に、多彩なメニューで実施しました。

- |   |  |       |
|---|--|-------|
| ① | 令和5年 6月15日（木）能代市ゴルフガーデン<br>内 容 「ゴルフ打ちっぱなし」 | 参加者2名 |
| ② | 令和5年 7月12日（水）北秋田市伊勢堂岱遺跡<br>内 容 「伊勢堂岱遺跡見学」  | 参加者3名 |
| ③ | 令和5年 9月20日（水）土崎みなと歴史伝承館<br>内 容 「歴史伝承館見学」   | 参加者8名 |
| ④ | 令和5年10月23日（月）阿仁スキー場<br>内 容 「ゴンドラで紅葉見学」     | 参加者4名 |
| ⑤ | 令和5年11月27日（月）能代市<br>内 容 「ボウリング」            | 参加者9名 |

### ◎まち自慢クラブ事業 ※報告は7ページへ掲載

◎子育て世代支援事業

チャイルドシート等の貸出事業 ※前年度実績 ( )

乳幼児の安全と健やかな子育てを支援することを目的として、藤里町社会福祉大会のチャリティーバザーの収益金を活用し、チャイルドシート等の貸出事業を行いました。

貸出件数計 10 件 ( 11 件)

チャイルドシート	7 件
ジュニアシート	1 件
ベビーベッド	0 件
ベビーバウンサー	1 件
ベビーカー (A 型 B 型)	1 件
ベビーバス	0 件

◎お買い物ツアー事業 ※前年度実績 ( )

月 4 回 (毎週金曜日) 登録者 22 名 (25 名)

実施回数 47 回 (48 回) 延利用人数 310 名 (306 名)

◎生活管理指導員派遣事業 実利用人数 3 名 (2 名) 延利用回数 85 回 (71 回)

◎軽度生活援助事業 0 件 (0 件)

◎プラチナバンク事業 ⇒就労的活動支援コーディネーターの配置

プラチナバンク事業での活躍 ※前年度実績 ( )

プラチナバンクは「働くかたち」や「働きかた」など、個人の生活スタイルや希望にあわせて登録。自分の力を活かせる、全世代型の地域活性化人材バンクです。

- ・登録会員 402 名 (393 名) 男性 147 名 (143 名)・女性 255 名 (250 名)
- ・就労状況

請求件数	就労延人数	収入額
431 件 (470 件)	6,501 名 (9,132 名)	28,260,139 円 (33,121,701 円)

No	作業内容	作業件数	延べ作業時間・回数等
1	町民バス運転	80 件	499 時間
2	福祉バス運転	34 件	187.5 時間
3	普通車運転 (公用車等)	57 件	234 時間
4	移送サービス (介護)	183 件	671 時間
5	移送サービス (障害)	34 件	107 時間
6	社協デイサービス介護	26 件	210.5 時間
7	社協デイサービス看護	3 件	24.5 時間
8	ヘルパー訪問介護	337 件	250.5 時間
9	社協厨房調理	785 件	2,499.5 時間
10	社協配食サービス配達	13 件	19.5 時間

11	改善センター受付・掃除	892 件	4,283 時間
12	改善センター調理補助	397 件	2,258 時間
13	改善センター宿直	39 件	39 回
14	改善センター環境整備	34 件	167 時間
15	こみっと業務	194 件	1,163.5 時間
16	こみっと厨房調理等	284 件	666 時間
17	菓子製造	277 件	1352 時間
18	宛名印刷	1 件	2 時間
19	美里園介護	10 件	76 時間
20	美里園除雪	13 件	29.5 時間
21	剪定	2 件	1.5 時間
22	草刈り	68 件	247.5 時間
23	草刈り (総務課)	23 件	42.5 時間
24	草刈り (教育委員会)	38 件	170 時間
25	草刈り (浄化センター)	17 件	126 時間
26	草刈り (土地改良区)	4 件	4 回
27	草刈り (地震観測所)	2 件	2 回
28	草刈り (栗の木岱)	17 件	90 時間
29	草刈り (栗林)	3 件	11 時間
30	草刈り等 (中畑 畑)	1 件	3 時間
31	草取り	19 件	83 時間
32	草取り (総務課)	10 件	22 時間
33	草取り (教育委員会)	22 件	92 時間
34	荷物運搬	3 件	6 時間
35	冬囲い (解体含)	12 件	25 時間
36	冬囲い (生活環境課)	2 件	4 時間
37	除雪	11 件	11 時間
38	総合福祉センター除雪 (準備含)	25 件	90.5 時間
39	除雪 (町民課)	47 件	73.5 時間
40	除雪 (教育委員会)	15 件	37 時間
41	くまげら宿直	366 件	366 回
42	くまげら日直	123 件	123 回
43	開発センター日直 (平日)	233 件	233 日
44	開発センター日直 (土日祝)	117 件	117 日
45	開発センター除雪	22 件	47 時間
46	開発センター軽作業	12 件	31.5 時間
47	コミュニティハウス管理	366 件	366 回
48	藤里学園巡視 (夕のみ)	46 件	46 回
49	藤里学園巡視 (朝夕)	76 件	76 回
50	根っこ掘り	49 件	270 時間

51	根っこ作業	70件	347.5時間
52	栗拾い・山菜採り	64件	227時間
53	栗の皮むき	37件	184.5時間
54	山菜・大豆・小豆・粉処理	111件	489時間
55	畑作業	4件	9時間
56	畑作業（矢坂フキ）	4件	8時間
57	畑作業（矢坂豆）	18件	73時間
58	畑耕起	2件	2時間
59	農薬散布	2件	5時間
60	特養藤里（介護補助）	144件	857.5時間
61	アルビオン	83件	404時間
62	役場宿直	341件	341回
63	役場日直	87件	87回
64	役場宿日直	34件	34回
65	屋内清掃等	43件	66時間
66	屋外清掃等	2件	15時間
67	通院等介助	3件	4時間
68	障子張り	4件	14時間
69	着物裾上げ	2件	6時間
70	商品梱包	2件	2時間

- ・プラチナバンク事業：こみっと活動分
- ・就労状況

請求件数	就労延人数	収入額
104件（107件）	1,545名（1,480名）	5,875,234円（5,538,482円）

No	作業内容	作業件数	延べ作業時間・回数等
1	社協事務所 事務補助	217件	1,525時間
2	ぶなっち 掃除	202件	506.5時間
3	社協グリストラップ	20件	20時間
4	改善センター掃除	238件	726時間
5	キッシュ製造	64件	147.5時間
6	特養藤里 介護補助業務	187件	1122時間
7	特養藤里 洗濯清掃業務	360件	2,323.5時間
8	日赤事務補助	14件	34時間
9	はがき宛名印刷	2件	81枚
10	資料作り	4件	135部
11	墓掃除	1件	1時間
12	デイサービス（見守り）	178件	1364時間

会員の活躍支援を推進するためのプラチナスタッフ（各作業の主担当）を6名配置して、初めて参加する人などのサポート体制を作り、活躍の場を増やしました。

- ・プラチナバンク事業：スタッフ活動分
  - ・活動状況

活動延件数		961件（1,051件）	
No	作業内容	作業件数	延べ作業時間・回数等
1	根っこ処理（袋詰め・水替え含）	212件	1,065時間
2	根っこ掘り	15件	81時間
3	環境整備（屋外作業）	45件	233時間
4	環境整備（屋内作業）	6件	32時間
5	そば打ち	91件	184時間
6	うどん作業	82件	261時間
7	こみっと厨房	222件	671時間
8	山菜採り	70件	276時間
9	山菜処理	115件	463時間
10	こみっと畑	13件	32時間
11	栗拾い・栗の皮むき	27件	154時間
12	フキ作業	5件	24時間
13	野焼き準備	4件	21時間
14	栗の木袋 草刈り・草取り等	6件	33時間
15	わらび餅作り	40件	54時間
16	研修・会議等	8件	18時間

10) ボランティアセンターの運営 ※報告は18ページへ掲載

1 1) 福祉教育・ボランティア学習の推進⇒地域を支える人づくり

◎おもてなし部隊の設置

◎精神保健福祉ボランティアの活躍支援

こころの健康や福祉、精神障害についての理解を深め、みんなが暮らしやすい地域づくりのために、何ができるかを考えることを目的にステップアップ研修を行いました。

(事業対象者：平成21、22、23、26年度精神保健福祉ボランティア養成講座修了者41名及びボランティア活動等をされている方)

ステップアップ研修Ⅰ (介護者リフレッシュ事業とボランティア団体と合同研修)

- ① 令和5年11月14日(火) 参加者16名(内精ボラ5名 社協2名)
- ② 令和5年11月16日(木) 参加者20名(内精ボラ4名 社協2名)
- ③ 令和5年11月20日(月) 参加者13名(内精ボラ2名 社協2名)

場 所 秋田市

内 容 A K T秋田テレビ局、秋田市民市場、大潟村道の駅  
地域文化の情報発信について視察、見学、交流研修

ステップアップ研修Ⅱ 令和5年10月7日(土) こみっと感謝祭 参加者18名

ステップアップ研修Ⅲ

- ① 令和6年 1月16日(火) 参加者23名(内精ボラ3名 社協7名)
- ② 令和6年 1月25日(木) 参加者20名(内精ボラ3名 社協5名)
- ③ 令和6年 1月26日(金) 参加者16名(内精ボラ0名 社協7名)

場 所 農村環境改善センター

内 容 まち自慢クラブ体験 テーマ 知って得する防災のススメ①  
～心肺蘇生とAEDの使い方～

講 師 佐野 淳子氏

◎ボランティア活動の活性化

ボランティア団体連絡協議会の活動支援

ボランティア団体相互の連絡調整並びに情報交換を図り活動を効果的に進めました。

登 録 9団体=92名

主な活動 湯の沢農村環境改善センター等でのボランティア活動

※コロナ禍にて感染状況を見ながら、特養にて衣類のほつれ縫い等

社協デイサービス外出レク(2~3名) お誕生会(1~2名) のボランティア活動  
研修(介護者リフレッシュ事業・精神保健福祉ボランティア事業と合同研修)

- ④ 令和5年11月14日(火) 参加者16名(内ボラ連 4名 社協2名)
- ⑤ 令和5年11月16日(木) 参加者20名(内ボラ連 7名 社協2名)
- ⑥ 令和5年11月20日(月) 参加者13名(内ボラ連 6名 社協2名)

場 所 秋田市

内 容 A K T秋田テレビ局、秋田市民市場、大潟村道の駅  
地域文化の情報発信について視察、見学、交流研修

1 2) 災害ボランティアセンターの運営等

- ・ 9月12日 藤里町と災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定を締結しました。
- ・ 防災研修や災害ボランティアセンターの運営に参加し、災害対策を学びました。
- 4月9日 防災セミナー 講師及川真一先生 参加1名
- 8月、9月 五城目町災害ボランティアセンター派遣2名 (8/26~27 9/3)
- 9月 秋田市災害ボランティアセンター派遣3名 (9/7~10 9/13~15 9/22~25)
- 11月 秋田県災害派遣福祉チーム員養成研修参加1名(11/2~3)
- 1月 秋田県災害派遣福祉チーム員養成スキルアップ研修参加1名(1/25~27)
- 1月13日 秋田豪雨におけるソーシャルワーク実践参加1名  
(第3回ソーシャルワーカーinあきた2023)
- 3月22日 藤里町避難確保計画作成講習会参加1名

1 3) 地域福祉財源の造成、助成事業の実施

公益財団法人JKA補助金でグループホーム美里園の外出用車両を整備しました。

1 4) 共同募金委員会と連携した共同募金・歳末たすけあい運動の実施等

- ◎赤い羽根共同募金総額 1, 116, 219円 (目標1, 197, 000円)
- ◎共同募金助成金を活用して下記の福祉事業を実施しました。
- 安心・活躍支援事業 (地域交流事業・広報活動事業)、共同募金運動推進事業  
藤里町社会福祉大会 こみっと感謝祭 一人暮らし高齢者交流会  
社協だより発行 ホームページの充実等  
子育て世代の活躍支援事業 (チャイルドシート等貸出事業)

◎歳末たすけあい運動の実施

募金総額 422, 438円 (戸別募金 996戸)

配分内訳

要介護者	28人	
上記介護者	28人	
在宅障害者(児)等	11人	
町内福祉施設(特養藤里・虹のいえ)	2施設	
虹のいえグループホーム	3カ所	
グループホーム美里園	2カ所	
出生祝い(タオルセット)	6件	
	80件	376, 200円
運動諸経費(のし袋等)		46, 238円
		422, 438円

【 相談支援・権利擁護部門 】

○相談支援・権利擁護部門は、地域住民のあらゆる生活課題を受け止め、地域での生活支援に向けた相談・支援活動、権利擁護事業、情報提供・連絡調整を行いました。

1) 総合相談体制整備事業

◎総合相談体制の構築（早期発見・早期対応システムにより活躍支援に繋げる）

- ・地域の福祉ニーズの早期発見・早期対応 報告・連絡・相談用紙の活用
- ・高齢者虐待・障がい者虐待・児童虐待等の早期発見・早期対応
- ・苦情処理体制の整備
- ・通常相談 10,307件（9,389件）受付 ※前年度実績（ ）

日常業務の中で、相談、要望、苦情、危険等を見逃さず拾い上げることができるように、全職員で統一様式「報告・連絡・相談」の活用を徹底しました。その内容を検証することで、気づきを増やし、業務の改善へつなげる体制を強化しました。

内 容	相談	ヒヤリハット	苦情	認知症	その他	計
介護関係	3,514	2,627	162	1,555	154	8,012
障がい関係	561	129	12	0	2	704
プラチハット	192	39	5	1	7	244
その他	1,016	209	34	6	82	1,347
計	5,283 (5,005)	3,004 (2,327)	213 (602)	1,562 (1,248)	245 (207)	10,307 (9,389)

◎生活困窮相談業務受託運営

経済的問題や心身の障害、ひきこもり、ニート、失業、家族の介護など複合的な生活上の問題を抱えている人が、地域の一員として参加、活躍しながら課題を解決できるよう、秋田県及び関係機関と連携し、一人ひとりの実情に合った包括的な相談・支援を行いました。

- ・相談受付対象者 69名
- ・相談受付件数 158件
- ・こみっと支援事業を一部転換
- ・伴走型支援事業（自立支援相談）
- ・就労訓練事業
- ・家計改善支援事業（金銭等管理支援事業）利用者数18名（内新規4名 終了4名）

◎地域包括支援センター受託運営

- ・地域ケア会議の開催  
担当者会議 13回開催  
移送サービス、生活支援ハウス利用申請等について協議  
(役場・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等)
- ケース検討会 66回開催
- ・ケアマネジメント機能の強化支援
- ・ケアマネジメントリーダー活動支援事業の実施

◎地域活動支援センター受託運営

- ・障害者等に創造的活動又は生産活動の機会を提供し、地域との交流促進等のため、研修会を実施しました。登録13名
- ① 令和5年11月19日(日) 3名参加 能代市 ときめきマルシェ見学等
- ② 令和5年12月27日(水) 5名参加 能代市 ボウリング等
- ③ 令和6年 1月30日(火) 7名参加 大館市 花善見学等
- ④ 令和6年 2月28日(水) 6名参加 秋田市 秋田県立博物館見学等

◎コミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置しました。

◎障がい者虐待防止センターの受託運営

※報告は20ページ総合相談体制整備事業へ掲載

◎相談支援事業所の運営 ※前年度実績( )

- ・特定相談支援事業
- ・障がい児相談支援事業
- ・地域移行・地域定着支援事業

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
13件	11件	22件	20件	10件	22件	10件	10件	18件	11件	13件	21件	181件 (170件)

◎自立生活援助事業所の運営(障害者総合支援事業)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3件	3件	3件	3件	4件	4件	4件	4件	4件	4件	4件	4件	44件 (24件)

◎居宅介護支援（ケアマネ）事業所の運営 ※前年度実績（ ）

- ・居宅介護支援事業
- ・介護認定調査の受託 158件（192件）
- ・介護予防支援業務の受託

利 用 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要支援・総合事業	45件	46件	48件	48件	48件	45件
要介護	111件	110件	108件	106件	106件	112件

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
48件	47件	47件	47件	51件	49件	569件
106件	105件	105件	103件	99件	96件	1,267件

2) 日常生活自立支援事業の受託

利用者数9名（内新規1名 終了1名） 相談援助 285件

3) 権利擁護支援に関する事業

◎権利擁護センター業務受託

認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方などの権利擁護支援を行いました。町民の方が安心して生活できるように、相談業務や成年後見制度の利用促進支援業務等を行いました。

- ・成年後見制度に関する広報及び普及啓発
- ・成年後見制度に関する相談及び利用支援
- ・成年後見人等の支援
- ・地域連携ネットワークの構築
- ・権利擁護支援の体制構築モデル事業実施（秋田県社会福祉協議会補助金事業）

4) 生活福祉資金貸付事業

0件

0円

コロナ特例貸付フォローアップ支援に伴う事務受託（秋田県社会福祉協議会）

5) たすけあい資金貸付事業

2件

200,000円

6) 安心・安全体制づくり（重層的支援体制整備事業）

☆生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センター機能・地域活動支援センター機能・トータルケア推進事業（CSW）機能・生活支援体制整備事業機能を活かし、一体的に運営することで、地域共生社会の実現を目指しました。

◎安心・安全の支援事業（24時間つながるサービス）

24時間オペレーターを配置し、緊急時も含め必要に応じた随時対応サービスを実施しました。

一人暮らし高齢者	対象者	319名	登録者	159名
高齢者世帯	対象世帯	197世帯	登録世帯	93世帯
その他世帯			登録世帯	3世帯
相談通報等件数		1,120件（内夜間対応7件）		

◎高齢者等除排雪事業 ※前年度実績（ ）

14世帯 113件：玄関前113件 屋根 0件  
（50世帯 419件：玄関前385件 屋根34件）

◎トータルケア推進事業（ネットワーク活動事業）の充実

藤里町民が安心と活躍のある暮らしを続けることができるように、各関係機関や近隣住民と協力しながら、まちづくりを進めていく事業です。民生児童委員・福祉員・行政・各関係機関・地域の方々と協働で活動しました。

・トータルケア推進連絡協議会代表者会議の開催

開催日 令和6年1月23日（火） 13:00～13:40

場 所 藤里町総合開発センター 研修室

出席者 13名

家庭裁判所 藤里町民生児童委員協議会

二ツ井消防署藤里分署 藤琴郵便局

障害者支援施設「虹のいえ」

藤里町役場町民課 藤里町地域包括支援センター 社協

協議事項 ネットワーク活動を効果的に進めていくために関係各機関との情報交換から現状の確認と共有を行いました。また権利擁護支援事業についても情報交換を行いました。

・トータルケア推進連絡協議会の開催

開催日 令和6年1月23日（火） 13:45～15:00

場 所 藤里町総合開発センター 大ホール

出席者 23名

家庭裁判所 藤里町民生児童委員協議会

藤琴郵便局 障害者支援施設「虹のいえ」

藤里町役場町民課 藤里町地域包括支援センター 社協

内 容 藤里町のトータルケア（ネットワーク活動）の現状について  
各関係機関の情報提供等について  
家庭裁判所から「権利擁護支援制度について」

・民生児童委員協議会との連携

毎月1回の定例会への参加（事務局長・地域福祉担当・地域包括支援センター等）

【 介護・生活支援サービス部門 】

○介護・生活支援サービス部門は、介護保険サービスや障がい福祉サービス、行政からの委託補助で行うその他サービスを提供しました。

その人らしい生き方・生活を尊重するため、必ずしも制度の枠にとらわれることなく、必要に応じて柔軟にサービスを提供する地域福祉型福祉サービスを目指して実施しました。

1) グループホーム美里園の運営 ※前年度実績 ( )

・定員：18名(9名×2ユニット)

延利用人数：6,254人(6,393人) 平均稼働率94.75%(97.3%)

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	540	558	540	557	504	496	532	488	496	528	511	504
稼働率	100%	100%	100%	99%	90%	92%	95%	90%	89%	94%	98%	90%

2) デイサービス事業所の受託運営 ※前年度実績 ( )

利用者一人一人のさまざまなニーズに応えられるサービスの提供に努めました。

開設日時 月～金(土日年末年始休み) 9:30～16:25

場 所 藤里町総合福祉センター

定 員 35名/日

通所介護事業所利用者数<介護保険対象デイサービス>

(延べ利用人数)

事業対象者	43名		
要支援1	208名		
要支援2	613名		
要介護Ⅰ	1,834名		
要介護Ⅱ	1,670名		
要介護Ⅲ	1,505名		
要介護Ⅳ	547名		
要介護Ⅴ	129名	計	6,549名(6,501名)

生活介護事業所利用回数<障害者総合支援対象> 延利用回数

区分4 1名 33回

区分3 1名 1回 34回(4回)

3) ヘルパー事業所の運営 ※前年度実績 ( )

専門職としての技術の向上に努め、各関係機関と連携しながら利用者の立場に立ったきめ細やかなサービスの提供に努めました。

・訪問介護事業

訪問介護員 常勤3名 (介護福祉士3名)

パートヘルパー5名 (ヘルパー1級1名・ヘルパー2級1名・介護福祉士3名)

	<介護保険該当延利用者数>	<延利用回数>
事業対象者	25名	104回
要支援1	86名	361回
要支援2	83名	506回
要介護Ⅰ	200名	1,307回
要介護Ⅱ	63名	828回
要介護Ⅲ	48名	362回
要介護Ⅳ	5名	9回
要介護Ⅴ	6名	30回
計	516名 (526名)	3,507回 (3635回)

・定期巡回随時対応型訪問介護看護事業利用者数

実利用人数10名 (8名) 延利用数102回 (74名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
10名	10名	8名	8名	8名	8名	8名	8名	9名	9名	8名	8名

要介護Ⅰ 4名 61回

要介護Ⅱ 4名 41回

・障害者総合支援居宅介護事業利用者数 延利用回数

区分4 3名

区分3 2名

区分1 1名

699回 (743回)

4) 生活支援ハウス「ぶなっち」の受託運営 延利用人数117名 (108名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
10名	9名	9名	9名	9名	10名	10名	10名	11名	10名	10名	10名

5) 福祉の拠点「こみっと」及び「くまげら館」の運営 ※前年度実績 ( )

◎障がい者総合支援事業

・就労継続支援B型事業

延利用人数2,005名 (1,980名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
162名	163名	175名	156名	167名	147名	165名	161名	189名	156名	172名	192名

・自立訓練（生活訓練）事業 延利用人数 93名（90名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8名	8名	8名	7名	8名	7名	9名	7名	7名	8名	7名	9名

・自立訓練（宿泊型）事業 延利用人数 345名（389名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30名	31名	30名	31名	31名	30名	30名	14名	21名	19名	40名	38名

・創作・生産活動事業 延利用人数 630名（617名）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
62名	62名	63名	59名	62名	50名	62名	59名	40名	38名	34名	39名

◎就労支援事業

・福祉の拠点こみつの運営 延利用人数 4,294名（5,036名）  
 お食事処こみつと 3,097名 事務所 24名  
 大会議室 399名 印刷機使用 11名  
 小会議室 733名 相談 2名  
 サークル室 28名

・お食事処こみつの運営

来客延人数 3,097名（3,282名） 売上額計 986,619円（1,131,567円）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来客数	253名	220名	259名	250名	321名	242名
売上額	71,820円	63,820円	90,700円	99,700円	182,540円	85,190円

10月	11月	12月	1月	2月	3月
368名	239名	231名	199名	232名	283名
96,250円	75,079円	54,290円	48,840円	48,110円	70,280円

6) 外出支援サービス事業の受託運営 計 185件（170件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
14件	15件	11件	12件	16件	13件	17件	19件	23件	18件	13件	14件

障害者等移動支援事業（障害及び透析：透析はなし）の受託運営計 35件（48件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3件	3件	3件	3件	1件	2件	3件	1件	4件	3件	6件	3件

7) 介護予防・日常生活支援総合事業受託運営

◎訪問型サービス

- ・訪問介護相当サービス

◎通所介護サービス

- ・通所介護相当サービス（社協デイサービス）
- ・通所型サービスA（湯の沢まち自慢クラブ）

◎その他の生活支援サービス ※前年度実績（ ）

- ・栄養改善を目的とした安否確認付き配食サービス ヘルパー事業所  
週5回（月曜～金曜）

利用人数 75名：一般57名 総合事業18名（82名）

延食数 8,878食：一般7,475食 総合事業1,403食（10,261食）

- ・定期的な安否確認及び緊急時の対応

実利用人数 8名（5名）

延利用回数 380回（225回）

◎介護予防マネジメント（委託先事業所：居宅介護支援事業所 3件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
45件	46件	49件	50件	49件	47件	49件	47件	48件	48件	52件	50件	580件 (478件)

◎一般介護予防事業

- ・介護予防把握事業
- ・介護予防普及啓発事業（まち自慢クラブ事業）
- ・地域介護予防活動支援事業
- ・一般介護予防事業評価事業

## 令和5年度補助金等による事業の実施

### ◎秋田県社会福祉協議会 権利擁護支援体制構築モデル事業補助金

人口減少が加速している藤里町において、持続可能な権利擁護体制を整えていくため、法人後見業務の開始に向けた事業を実施しました。

- ・ 第1回基礎研修会開催（社協内部研修） 講師：鹿角市社協 浅水氏
- ・ 第2回基礎研修会開催（福祉・医療関係者） 講師：能代市社協 斉藤氏
- ・ 第3回基礎研修会開催（地域住民・民生委員等） トータルケア推進連絡協議会
- ・ 第1回法人後見研修会開催（鯨ヶ沢町社協視察研修）
- ・ 第2回法人後見研修会開催（トータルケア推進連絡協議会） 講師：裁判所書記官 菅原氏

### ◎藤里町介護保険施設・障害者支援施設等物価高騰対策事業補助金

原油価格や物価が高騰する中、介護保険施設等が安定的な介護サービスを提供できるよう光熱費のかかりまし経費の一部に使用しました。

### ◎令和5年度 活躍支援の拠点づくりプロジェクトの活性化

活躍支援事業（プラチナバンク事業、ひきこもり支援等）や安心・安全支援体制づくりについて、新型コロナウイルス感染症の類型が5類に変更されたことにより、視察研修、藤里体験プログラム、講演などについて制限なく全国の福祉関係者等とのつながりを持つことができました。また、年齢や障がいの有無にとらわれない新たな形での地域住民交流事業（未知との遭遇カフェ）の検討・試行も行い県内外の大学生等とのつながりを持つことができました。

### 視察受け入れ

No.	月 日	受け入れ団体	地名	オンライン	参加者数
1	5月28日	紫波町民生児童委員協議会	岩手県		14名
2	7月 5日	潟上市昭和地区民生児童委員協議会	潟上市		10名
3	7月10日	潟上市天王地区民生児童委員協議会	潟上市		32名
4	7月11日	岡崎市議会	愛知県		2名
5	7月11日	西尾市議会	愛知県		1名
6	7月20日	八郎潟町社会福祉協議会	八郎潟町		3名
7	8月29日	八幡平地区民生児童委員協議会	鹿角市		16名
8	8月31日～ 9月1日	檜葉町社会福祉協議会	福島県		7名
9	9月 6日	美郷町民生児童委員協議会 障がい福祉部会	美郷町		12名
10	9月21日	横手市山内地区交流センター	横手市		12名
11	10月 6日	秋田市外旭川民生児童委員協議会	外旭川		17名
12	10月18日	社会福祉法人 恒和会	山口県		4名
13	11月8日	公明党 鳥取市議団	鳥取県		6名

14	11月14日	浜田市議会 会派 公明クラブ	島根県		3名
15	11月29日	土淵町農村活性化協議会	岩手県		14名
			合計		153名

#### 講演等

No.	月 日	受け入れ団体	地名	オンライン	参加者数
1	6月 3日	ワーカーズコープフォーラム	大館市		120名
2	6月27日	NHK 秋田放送局「認知症とともに生きるまちへ！」 地域ミーティング	秋田市		100名
3	9月21日	鹿児島 錦江町	鹿児島県		250名
4	11月11日	生活困窮ネット	札幌市	○	100名
5	12月10日	新潟県南区社会福祉協議会	新潟県		172名
6	12月19日	新ひだか町社会福祉協議会	北海道		50名
7	12月21日	NPO 法人 地域共生開発機構ともつく		○	40名
8	1月19日～ 20日	大木町、大木町シルバー人材センター、 大木町社会福祉協議会	福岡県		150名
9	2月7日	那珂市社会福祉協議会	茨城県		121名
			合計		1,103名

#### 藤里体験プログラム受け入れ

No.	月 日	受け入れ団体	地名	オンライン	参加者数
1	8月7日～8日	社会課題研究会	全国		7名
2	8月24日～ 25日	立教大学	埼玉県		5名
			合計		12名

#### 取材受け入れ

No.	月 日	受け入れ団体	地名	オンライン	参加者数
1	4月17日	全国社会福祉協議会(月間福祉取材)	東京都	○	1名
2	5月26日	東洋大学大学院	横浜市		1名
3	10月10日	千葉商科大学	千葉県		2名
4	通年	東大阪大学短期大学部	大阪府		1名
5	2月29日	月刊ケアマネジャー取材	東京都	○	1名
			合計		6名